

地域と支える子供の学び、子供の育ち

山梨県甲府市

活動名

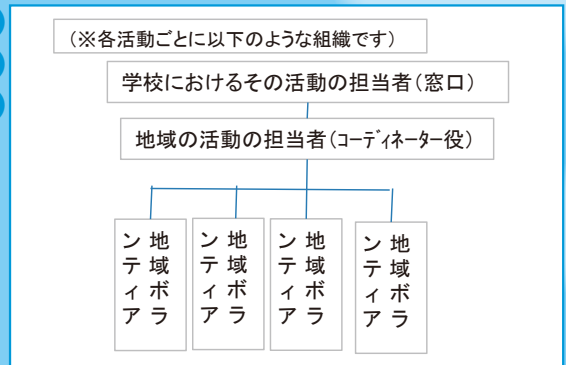
中道南小学校地域による応援団

関係する学校名

中道南小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 159人	学習支援 有	開始年度 21年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援			放課後児童クラブとの連携		
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

体制図



活動の概要
 「中道ふるさとハイキング」は、縦割り班にまとまった児童が、地域を学び巡る学習で、保護者や地域住民との関わりをとおして、思考力・判断力や社会性を高めていく活動である。「放課後学習教室」は、平成26年9月より活用を開始した家庭学習ノート「南小がんばりノート」の取組とともにスタートし、地域在住教員OBの支援による、学習内容の定着を目指した学習支援の場として現在に至っている。その他、地域安全パトロール推進協議会による見守り活動や甲府空襲を題材に地区公民館に寄贈された紙芝居を活用して、地区文化協会読書部のメンバーが、全校平和集会の中で「読み聞かせ」を行う活動などがある。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「中道ふるさとハイキング」は、全校児童が地域の歴史、文化、自然、産業、生活などに触れることのできる体験活動である。8つの縦割り班が保護者や地域の協力を得ながらコースや検証課題設定のための事前学習に取り組み、当日は学区内の史跡や寺院、畑などを訪ね、課題を検証していく極めて特色ある活動となっている。「放課後学習教室」は、希望制であるが、3年生以上のほとんどが参加し、地域教員OBと当該学年の教師と一緒に指導に当たり、放課後の時間の有効的な活動となっている。平和集会の「読み聞かせ」は、焼夷弾により実際に負傷した体験をもつ中道地区文化協会読書部のメンバーが、実話をもとに作成された紙芝居をスクリーンに投影しながら、平和の尊さを語るものである。また、地域安全パトロール推進協議会のメンバー57名による子供たちの見守り活動も行われている。

【実施に当たっての工夫】

「中道ふるさとハイキング」では、地域住民・団体等との関わりも増え、地域の大人との人間関係の深まりや個のコミュニケーション能力の向上に効果が期待されている。「放課後学習教室」については、地域教員OBが学校教職員と個別の児童の状況を把握、共有し、指導対象の学年や児童を原則的に固定しながら、見通しを定めた継続的な指導が行われるよう工夫されている。いずれの活動も、地域の方々の得意分野を活かす形での協力を得ている。

● 事業を実施しての効果・成果

「中道ふるさとハイキング」では、多くのボランティアの方々の協力を得たことで、地域の方々とのふれあいが深まるとともに、身近にある地域の産業を知り、理解を深めることができた。併せて地域の自然や歴史、施設等にも目を向けさせたことにより、これらを地域素材として各学年のこれからの学習に活かしていくことができるようになった。「放課後学習教室」への児童の感想は「わからないところを教えてもらえてうれしい」「難しい問題にチャレンジできるのがよい」など、また保護者の評価は、「家で学習に取り組むようになった」「補習をしてもらえてありがたい」「手厚い指導に感謝している」などが報告されている。また、この機会を活かして地域在住の教員OBには、学校の実態や課題、経営方針などを理解してもらい、総合的な視点から協力を仰いでいる。

● その他

「放課後学習教室」は、活動内容の選択肢を広げるため、「放課後子供教室」として展開を始めている。



中道ふるさとハイキングの様子



地域教員OB協力の「放課後学習教室」